

## 2011 年度 事業報告

2011 年度は、フェアトレード認証の主産品であるコーヒーの販売量が大きく伸び、フェアトレード認証製品市場は前年比 28.9%増の約 21.5 億円となり、目標であった 21 億円を達成することができた。また、オンライン顧客管理システムの機能拡張、Facebook の公開、インターンの採用、テクニカルサポーター翻訳チームの立上など組織基盤の強化にも積極的に取り組んだ。

### 1. 認証・ライセンス業務

#### 1-1 市場動向概況 (2012 年 3 月 31 日時点)

主に外食での認証コーヒーの販売拡大が大きな要因となり、フェアトレード認証市場 (推定) は前年比 28.9%増の約 21.5 億円となった。

一方で、ライセンサー組織数は前年比 22%減の 49 組織となった。これは、2009 年 12 月に導入された新料金制度が 2 年間の移行期間を経て 2012 年 1 月 1 日よりすべての FLJ 登録企業に適用された事に伴い、フェアトレードの退会を申し出る組織があったことによる。

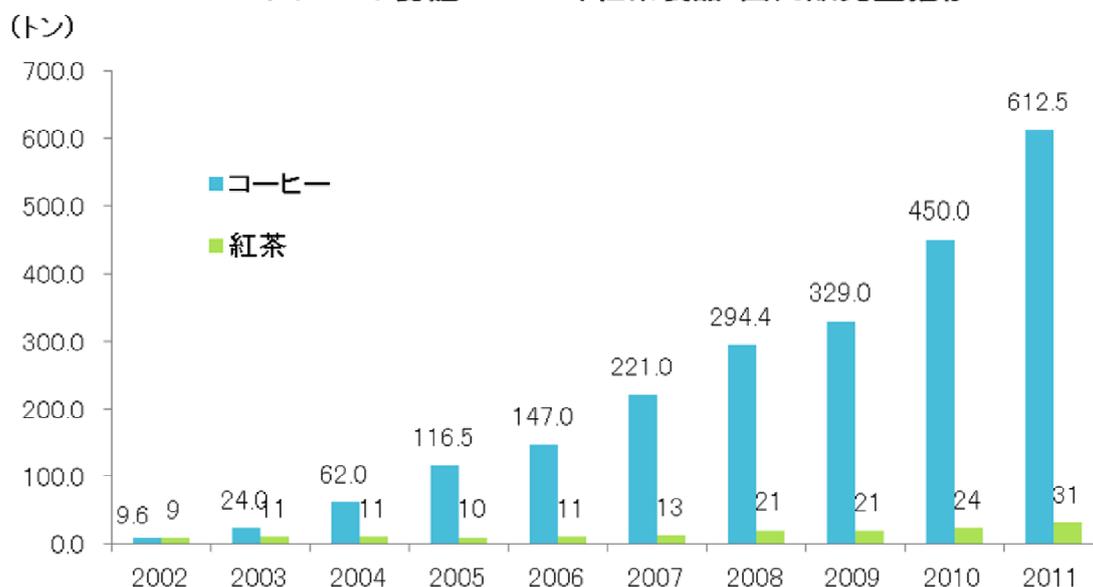
項目	2011 年度	前年度	前年度比
フェアトレード参加組織 (注 1)	129 組織	130 組織	1%減
ライセンサー (注 2)	49 組織	63 組織	22%減
フェアトレード認証製品推定市場規模	21.5 億円	16.7 億円	28.9%増
ライセンス収入 (注 3)	21,540,224 円	16,708,218 円	28.9%増

(注 1) FLJ 登録組織・FLO-CERT 認証組織、製造委託、海外完成品輸入組織など

(注 2) 最終製品の販売者、ブランドオーナー

(注 3) 産品別ライセンス収入の内訳：コーヒー73%、紅茶7%、スパイス4%

フェアトレード認証コーヒー、紅茶製品 国内販売量推移



## 1-2 新規登録組織

今年度新規登録組織は以下の3社であった。

組織名	役割	産品
ワルツ株式会社	製造・ライセンス	コーヒー
株式会社フクイ	製造	カカオ
九鬼産業株式会社	製造・ライセンス	オイルシード・油脂果実 (ごま)

## 1-3 主なマーケットの動き

ミニストップ (コーヒー)	・4月～ 高速道路出店15店舗において FLO フェアトレードコーヒーを提供 ・5月～ フェアトレード缶コーヒー販売開始 (全国のミニストップ店舗対象)
イオン (カカオ)	10月～ チョコレートウェハースビターの発売 (全国 3,500 店舗)
トヨービバレッジ (コーヒー)	チルドカップ 2 種発売 (JR 東日本リテールネットが運営する NEWDAYS と KIOSK 対象)
良品計画 (カカオ)	10月～ 無印良品ブランドでのチョコレート (2 種) 発売
スターバックス (コーヒー)	3月15日～イタリアンロースト販売開始
わかちあいプロジェクト	有機味噌、醤油、インスタントみそ汁の発売
ユニカフェ (コーヒー)	フェアトレード認証コーヒー3種 (オリジナルブレンド、グアテマラ、マンデリン) 発売
九鬼産業 (ゴマ)	3月～ ゴマ製品発売
リタトレーディング (カカオ)	11月～ オーガニックチョコレート3種発売
岐阜米穀株式会社 (穀類)	10月～ 日本で初となるキヌア製品発売

## 1-4 監査業務

2010年より監査人を2名増員し2011年度より3名体制での監査を開始した。FLJ 監査対象組織約60社のうち、今年度は20社 (昨年度は10社) に対し監査を実施した。

### 実施状況

役割	監査組織数
ライセンス	1社
製造+ライセンス	8社
製造	2社
卸	1社
輸入+製造+卸+ライセンス	8社
合計	20社

### 監査人の指摘事項 (主要項目)

- (1) FLO基準で決められている取引関係書類の作成を行っていないケースがあった。  
→取引関係書類に関する情報周知と指導が必要
- (2) 主な取引関係書類に、「FLO フェアトレード認証」「FLO-ID」の記載がない。

- 取引書類および現物トレーサビリティの徹底への指導が必要
- (3) プレミアムの支払いが遅れているもの、支払先が明確でないものが見られた。  
→プレミアムの支払いに関する情報周知と指導が必要
- (4) 加工を外部に委託している場合、委託先組織を指導・管理をしていないケースがみられた。  
また、委託製造申請書を事前にFLJに提出していないケースが見られた。  
→委託製造に関する情報周知と指導が必要
- (5) 作成した認証ラベルの使用数管理、在庫管理をしていない組織がある。  
また、パンフレット等の販促物について、ラベル使用許可申請書を出していない組織がある。  
→認証ラベルの使用に関する情報周知と指導が必要
- (6) 四半期報告をFLJに提出していない組織がある。  
→四半期報告に関する情報周知、指導と、継続的に督促を行う事が必要。

### 1-5 その他

- ・ステークホルダー会議の開催 (1月25日)
- ・複合原材料製品基準の施行 (7月～)
- ・監査人トレーニング (6月6日～9日 FLO-CERT プログラム@インド)  
FLO-CERT 監査人丸山、事務局より中島が参加

## 2. 普及啓発・広報事業

### 2-1 講演・メディア掲載

セミナー・シンポジウム等での講演	17回
メディア	テレビ (3)、ラジオ (1)、新聞 (6)、雑誌 (6)、リーフレット (4)、Web(3)
書籍・教材への掲載	書籍 (2)、教材 (8)

### 2-2 Facebook の公開

FLJ Facebook を9月に公開した。現在 (3月31日時点)、「いいね」数 (ファンの数) は約360であるが、ホームページリニューアル時に Facebook へのリンクをはる事によりファン数の増加が見込まれる。

参考：Fairtrade Foundation(UK):約71,000                      FLO:約4,300

### 2-3 主な自主活動

- ・フェアトレード月間キャンペーン「つなげよう、フェアトレードの輪」実施 (5月)  
※別途詳細報告書あり
- ・2011 フェアトレード月間「キャンペーン企画サポート委員会」の運営
- ・ウェブサイト
- ・メルマガ配信
- ・教材・販促ツール販売 (Fair spirits、DVD、ポスター、POP、Tシャツ)
- ・一般問合せ対応

### 2-4 その他

- ・フェアトレード推進会議への参加
- ・チョコレボ・アライアンス2012「愛のチョコレートキャンペーン」への参加 (12月～3月)
- ・外務省NGO研究会「フェアトレードと国際協力」への参加、生産者訪問 (ボリビア)
- ・フェアトレードタウン運動の推進 (一般社団法人フェアトレードタウン・ジャパンへの理事参加)

### 3. FLJ 組織運営

#### 3-1 組織基盤強化

##### 3-1-1 マーケティングの強化

フェアトレード市場の更なる拡大を目指し、今年度後半はマーケティングの強化に尽力した。Panasonic/NPO サポートセンターNPO マーケティングプログラムの受講をし、課題の洗い出し、環境分析、ポジショニング、マーケティング施策立案などに取り組んだ。11月には参加企業のニーズを正確に把握するため、フェアトレード参加組織へ「フェアトレードおよびフェアトレード・ラベル・ジャパン (FLJ)の活動に関する調査」を実施し75%以上の回答率を得た。

また、営業・マーケティングの本格始動に伴い、マーケティング・マネージャーを10月に雇用しマンパワー、技術の不足を補完した。今後、「2015年フェアトレード市場70億円」という中期目標を達成すべく、営業・マーケティングへの取り組みを強化していく。

##### 3-1-2 オンライン顧客管理システム (CRM) の機能拡張

2010年に導入したセールスフォース顧客管理システム (CRM) につき、下記の機能拡張を行った。

- ・ライセンス料登録、集計システムの構築
- ・ライセンス料自動請求書発行機能の構築
- ・年間登録料管理システムの構築
- ・監査業務管理システムの構築
- ・認証製品管理システムの構築
- ・その他機能の拡張

これに伴い業務手順書を作成し一連の認証・登録作業をマニュアル化することにより、作業効率が大幅にアップした。加えてライセンス料、販売量、登録組織、認証製品に関するデータ集計、グラフ作成、およびリスト化が瞬時に可能になり、リアルタイムでの数値の把握が容易にできるようになった。今後、市場拡大のための戦略をたてる上でも有効なツールになっていく。

##### 3-1-3 インターン受入

広報担当インターンを8月、2月に各1名ずつ受入れた。Facebookの立ち上げ・運営、HPの内容充実化等に大きく貢献した。今後も、定期的にインターンを受け入れていく予定である

##### 3-1-4 テクニカルサポーター翻訳チームの募集開始

3月にテクニカルサポーター翻訳チームの募集を開始した。メンバーが集まり次第、4月より国際フェアトレード基準の翻訳から取り掛かる。

#### 3-2 FLJの内部監査

1月23日、監査人寺田寛重氏によるFLJに対する内部監査を実施

##### 監査での主な指摘事項

###### 重要改善事項

###### (1) 認証手順、監査手順の明確化

オペレーターに対する業務改善命令手順、認証取消手順、ライセンス取消手順がない。「認証規定」「監査規定」を策定して、認証目的、認証手順(業務改善命令手順、認証取消し手順、オペレーターからの意義申立て手順等を含む)、認証と監査の関係などについて明確にする必要がある。

→現在監査認証規定案を作成し、検討中である。

#### 軽微改善事項

##### (1) ライセンサー販売報告書について

販売報告書は様式 (D 2 様式) が決められているが、参加組織によっては、自社で作成した適宜の報告様式で報告してきている。決められた様式に統一していく必要がある。

##### (2) 四半期販売報告について

ライセンサーからの四半期ごとの販売報告等の提出が遅い。毎四半期の翌月末までに報告することになっている。2011 年 1 月～12 月報告では、63 回/117 回 (期限内報告率 54%) と低い。毎期、80% 以上は期限を守るように指導する必要がある。

→2011 年第 3 四半期より、報告月第 1 週に提出のお願いのメールを送付する事で、回収率は若干向上した。報告月第 4 週にも通知することで今後対応していく。

##### (3) 国際販売管理について

認証製品を国外に出荷する場合には、FLJ 事務局へ事前通知が必要であるが、事後通知となる場合が多い。事前通知を指導すること。

→情報周知を行う。

### 3-3 会員・サポーター

会員	15 (昨年度末 16)
サポーター	9 (昨年度末 34)

#### ・通常総会開催

日時：2011 年 6 月 25 日 (土) 13:00~15:00

場所：FLJ 事務所

議題： 審議事項 (第 1 号議案) 2010 年度 事業に関する事項  
(第 2 号議案) 2010 年度 決算に関する事項  
(第 3 号議案) 監事選任に関する事項

報告事項 (1) 2011 年度 事業計画  
(2) 2011 年度 収支予算  
(3) 理事選任に関する事項

### 3-4 理事会運営

2011 年度は 8 回の理事会を開催した。

#### ・第 1 回：2011 年 4 月 21 日 (木) 18:00~21:00

議題 1. 2010 年度決算承認  
2. 2010 年度事業報告承認  
3. 2010 年度 監査報告

#### ・第 2 回：2011 年 6 月 25 日 (火) 11:00~12:45

議題 1. 役員の選任  
2. 理事会構成の再確認  
3. アドバイザー制度 アドバイザーの人選について  
4. 他団体との連携事業の方針再確認  
5. 2011 フェアトレード月間キャンペーンの報告  
6. 人事 (インターンの受入について)  
7. 砂糖例外処置の件

#### ・第 3 回：2011 年 7 月 27 日 (水) 11:00-16:30

- 議題 1. 退職金規定について
  - 2. NPO 法改正 (NPO 法人会計基準導入) への対策
  - 3. Panasonic NPO マーケティングプログラム研修
  - 4. 監査 企業審査の是非、規定化へ向けた方向性
  - 5. アドバイザー制度
  
- ・ 第 4 回 : 2011 年 10 月 30 日 (月) 18 : 30 ~ 21 : 00
  - 議題 1. 事務局長人事
    - 2. FLO ガバナンスモデル
  
- ・ 第 5 回 : 2011 年 12 月 1 日 (木) 15 : 00 ~ 20 : 00
  - 議題 1. ネットワークセキュリティの強化対策
    - 2. ライセンス料・登録料の消費税 5% 外税請求
    - 3. 2012 年以降の事業プランニング
    - 4. Panasonic NPO マーケティングプログラム研修成果
    - 5. 事務局長産休中の事務局運営について
    - 6. NPO 法人改正を受けて (新会計基準、FLJ 法人格見直し是非)
  
- ・ 第 6 回 : 2012 年 1 月 17 日 (火) 17 : 00 ~ 19 : 00
  - 議題 1. 組織基盤強化① (理事・監事の増員とアドバイザー制度)
    - 2. 組織基盤強化② (法人格見直し是非)
    - 3. ステークホルダー調査結果と今後の対策 (顧客サービスの向上と 2015 年中期目標達成に向けて)
    - 4. 2012 年 Panasonic 助成事業 (外部コンサル指導進捗と今後の計画)
    - 5. 市場拡大戦略とターゲット
  
- ・ 第 7 回 : 2012 年 1 月 25 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00
  - FLO 副理事イアン・ブレットマンとの座談会
    - FLO 最新動向、ガバナンス、アジア・日本市場拡大について
  
- ・ 第 8 回 : 2012 年 3 月 15 日 (木) 15 : 00 ~ 17 : 50
  - 議題 1. 2011 年事業報告
    - 2. 2011 年度決算見通し
    - 3. 2012 年度予算・事業計画について
    - 4. 2012 年 ~ マーケティング戦略

### 3-5 勉強会

外部から講師を招き、組織基盤強化の一環として理事、事務局で勉強会を開催した。

- ・ 第 1 回 : 2011 年 7 月 27 日 (水) 16:30~18:15
  - 講師 : 船木 成記氏 (株式会社博報堂 企画開発部ディレクター)
    - 日本のフェアトレード市場について
    - 外部から見た FLJ (課題、可能性など)
  
- ・ 第 2 回 2012 年 3 月 15 日 (木) 18:00~19:30
  - 講師 : 高橋 雅央氏  
(世界経済フォーラム コミュニティマネージャー、グローバルリーダーシップフェロー)

- 世界経済フォーラム概要
- ダボス会議について
- リーマンショックや欧州経済危機を受けての世界経済界のリーダーたちの認識の変化

#### 4 FLO 関連

(1) FLO 副理事長イアン・ブレットマン再来日 (1月23日-1月27日)

- ・理事と世界フェアトレードの動きについて情報共有
- ・ステークホルダーとの市場拡大に向けた協議

(2) 国際フェアトレード基準改定

- ・新しいFLO基準の枠組み施行 (2011年7月施行)
- ・複合原材料製品基準 (2011年7月1日より施行)
- ・認証ラベル使用ガイドラインの改定 (2011年秋～)

(3) その他

- ・FLO年次総会への出席 (10月)